

プラチナ展望

中国のガラス繊維の需要の成長、工業のプラチナ需要の今後を支える

工業のプラチナ需要が過去 10 年で世界の GDP 成長率の 2 倍となる 5.4% を達成した背景には、世界のガラスとガラス繊維の生産が急増したことがある。ガラスの生産能力増強には定期的なサイクルがあるが、ガラス繊維の需要は再生可能エネルギー産業と自動車の軽量化傾向に支えられて右肩上がり続け、今後のプラチナ需要に安定した貢献ができるだろう。

プラチナとロジウム合金は高価だが、高温と腐食に耐える必要のある加工過程には最も適しており、高品質のガラス繊維とシートの生産に不可欠だ。2020 年までガラス産業は工業のプラチナ需要の約 12% を占めていたが、今では 22% ~ 30% にまで増えている (下左図)。工場の生産設備拡大による需要には周期性があることを考えると、この大きな需要増は、設備投資によるものだけではなく、持続的な需要の成長が背景にあると言えるだろう。

世界のグラスファイバー生産は 2013 年以降、年間平均 6.9% で成長し続けており、その中心は 5 割 ~ 7 割のシェア (下右図) を持つ中国。これを支えているのは家電製品のガラス繊維と高品質スクリーンの需要だが、コロナ禍で急増した家電製品の需要によるガラス需要はいずれ落ち着くだろうし、断熱材の需要によるガラス需要も問題がないわけではないが、ガラス繊維の需要は、特に再生可能エネルギーの分野での利用によって今後も順調に増え続けるだろう。

Edward Sterck
Director of Research
+44 203 696 8786
esterck@platinuminvestment.com

Wade Napier
Analyst
wnapier@platinuminvestment.com

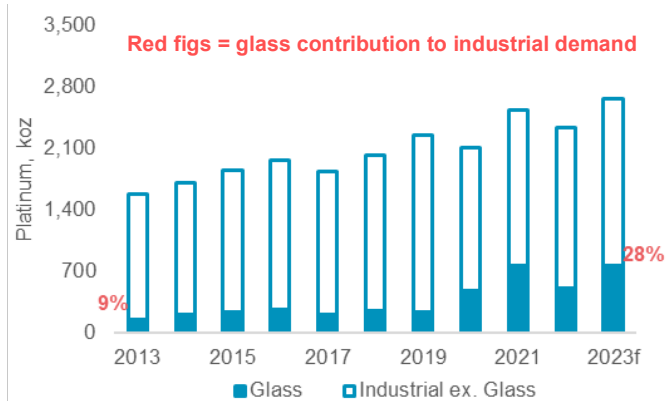
Jacob Hayhurst-Worthington
Associate Analyst
worthington@platinuminvestment.com

Brendan Clifford
Head of Institutional Distribution
+44 203 696 8778
bclifford@platinuminvestment.com

World Platinum Investment Council
www.platinuminvestment.com
166 Piccadilly,
London, W1J 9EF

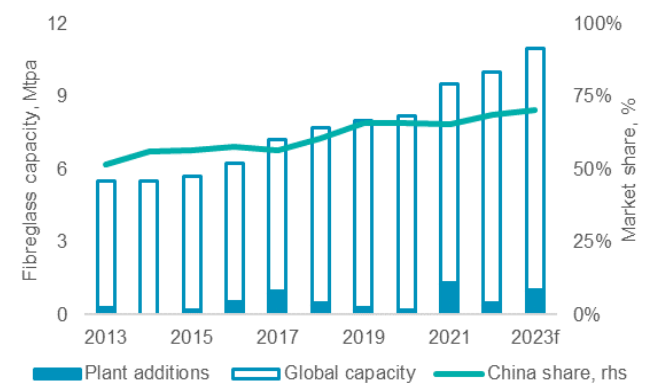
2023 年 9 月 27 日

ガラス産業の伸びでプラチナ需要は新たな段階に



資料: 2013 年~2018 年は SFA (オックスフォード)、2018 年~2023 年予測はメタルズフォーカス、WPIC リサーチ

中国が世界のガラス繊維生産の伸びを牽引



資料: China Glass Fibre Industry Association、WPIC リサーチ

中国は世界のガラス繊維生産の 7 割 (2023 年) を占める最大生産国で、2025 年までの大規模な生産拡大計画を進めている。中国のグラスファイバー 5 社だけで 2023 年から 2025 年の間に、世界の現在の生産能力の 2 割に当たる年間 220 万トンの増産が計画されており、中国の生産能力は 2025 年までに 32% 増える (2023 年は 80 万トン、2024 年~2025 年に 140 万トン、図 4) ことになる。生産拡大計画には遅延のリスクもあるが、一方で再生可能エネルギー市場は生産規模拡大が必須だ。特に風力発電能力は 2022 年~2030 年の年間平均成長率 9.5% (図 5) が期待されている。風力タービンの製造には従来の建築材よりも優れているグラスファイバー複合材が使われている。

たとえ不況にあっても政府の再エネ発電支援は停止することはないため、これがガラス産業の成長を支える基盤となって、2027 年までに、2020 年の水準より 8.7 トン多い、年間約 15.6 トンというプラチナ需要を生み出すだろう (図 6)。

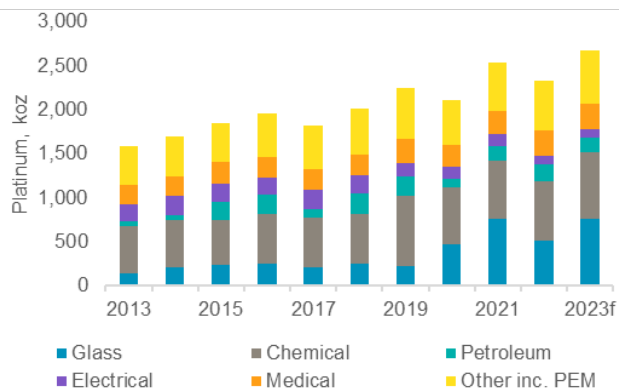
年平均 5.4% という工業のプラチナ需要の成長率は 2013 年以来、世界の GDP 成長率のほぼ 2 倍

中期的な生産能力拡大計画の存在と、成長著しい風力タービン市場の需要を満たす必要から、ガラス産業のプラチナ需要は今後も持続可能

投資資産としてのプラチナ:

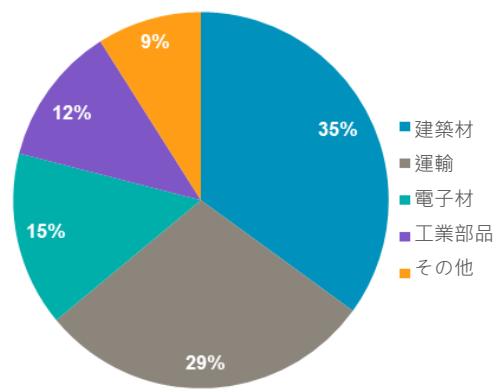
- WPIC のリサーチによると、プラチナ市場は2023年から供給不足が続く
- 水電解装置や燃料電池に使われるプラチナを通じて水素経済の発展に投資できる
- 南アフリカの電力問題、対ロシア制裁などでプラチナの供給には問題が多い
- 自動車のプラチナ需要はガソリン車の代替需要を主に今後も成長が期待できる
- プラチナ価格はゴールドとパラジウムに比べて大幅に安い

図 1: ガラス産業のプラチナ需要は、2013 年以来的増加が最速であると同時に、変動の大きい分野でもある



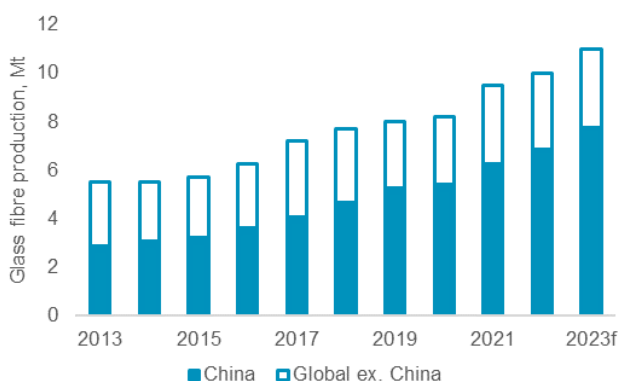
資料: 2013 年~2018 年は SFA (オックスフォード)、2018 年~2023 年予測はメタルズフォーカス、WPIC リサーチ

図 2: ガラス繊維はインフラ関連分野を主に様々な利用がある



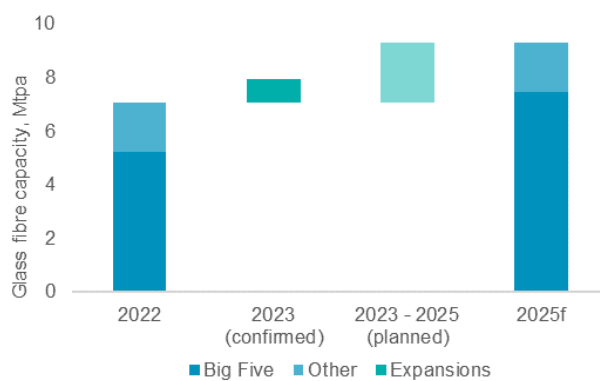
資料: 中国巨石、WPIC リサーチ

図 3: 過去 10 年間の世界のグラスファイバー生産能力の増加の大部分は中国



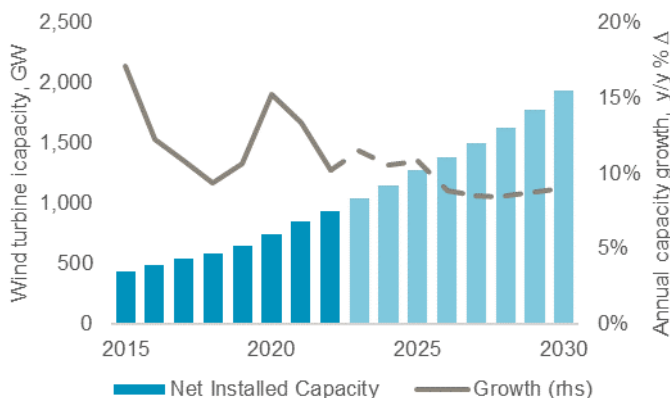
資料: China Glass Fibre Industry Association、WPIC リサーチ

図 4: 中国の 5 大ガラス生産企業は 3 年間で 32% の生産能力拡大計画



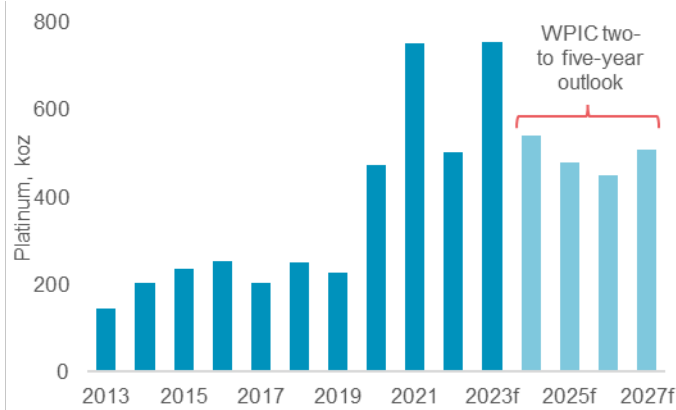
資料: 会社資料、WPIC リサーチ *ビッグファイブとは China Giant Stone, China National Building Group, Chongqing International, Shandong Fiberglass, Chang Hai Corp

図 5: 風力タービンを始め、再エネ需要の増加を支えているのは送電網の脱炭素化の動き



資料: Bloomberg Intelligence、WPIC リサーチ

図 6: ガラス産業のプラチナ需要は今後短期間の生産能力増強と、長期の成長の両方からの需要によって 2027 年まで堅調予測



資料: 2013 年~2018 年は SFA (オックスフォード)、2018 年~2023 年予測はメタルズフォーカス、2024 年以降は WPIC リサーチ

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われな

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。